



すがわら

令和7年2月
愛川町立菅原小学校
齋漬 啓 前盛 朋樹
電話 046-285-2794

子どもたちが羽ばたいていく未来を ますます温かな社会に！

校長 前盛 朋樹

今季一番の最強寒波が猛威を振るっておりましたが、季節を分ける「節分」が過ぎ、暦の上では春となりました。校門の両脇にある菅原小学校のシンボルツリー 紅白の梅の花が今年もきれいに咲き始め、登校日数が50日余りと短い3学期も折り返しにきています。

子どもたちは「縄跳び旬間」の取り組みで毎日休み時間グラウンドに出て、短縄跳びの練習に励んだりクラスで声を掛け合いながら長縄跳びに取り組んだりしています。一人一人が自分で立てた目標に向かって取り組むことで体力を高め、感染症に負けない元気な体づくりをするとともに、友達と一緒にみんなで運動の楽しさを味わいながら、特に長縄跳びでは、「大丈夫!」「落ち着いて!」「ドンマイ!」「できるよ!」など、「がんばろう」という気持ちが湧いてくるような温かい声かけが、クラスの絆を深めています。

また、今年度も引き続き5年生が福祉学習として「車いすバスケットボール体験」を行いました。はじめに、生活用の車いすとの違いや「車いすにとって大変な『段差』をどのように乗り越えるか」等、実際に見せていただきながら教えていただきました。そして、日本車いすバスケットボールアカデミーの方が競技用の車椅子を10台以上お持ちくださったおかげで、全員が何度も車いすに乗って車いすリレーや車いすバスケットボールの試合を体験することができました。見るのと実際に乗って操作するのは大違いで、やってみて初めて気づくこと、分かることがたくさん!体験前の説明を含め、子どもたちにも様々な気づきがあったことと思いますが、だからこそ「体験する」ことの大切さを改めて感じました。最後に、「できることに挑戦することで、たくさんの失敗を経験し自分自身が成長できること」や「まずは、まわりの友達や仲間、大人も含め自分の身近な人たちを大切にしてほしい」とのメッセージをいただきました。車椅子の方たちが困る「段差(バリア)」は物理的なものだけでなく、我々の心の中にもあるのではないのでしょうか。この学習を通して、様々な人が過ごしていることへの想像力が広がり、「自分にできること」を考えたり行動したりしながら、子どもたち自身や子どもたちを取り巻く我々大人から「思いやり」や「優しさ」が社会に広がって、様々な人にとって過ごしやすい社会、子どもたちが羽ばたいていく未来がますます温かな社会になっていくことを心から願っています。

次年度入学してくる新1年生の保護者説明会が行われる等、次年度に向けた準備も少しずつ始まってきています。先日は1～3年生の授業参観も行われ、「できるようになったこと」の発表やチャレンジだけでなく、発達の段階に応じて子どもたちが進行する姿にも、成長を感じることができました。子どもたち自身も、発表等を通し自らの成長を感じて自己肯定感を上げるとともに、1つずつ学年の上がる次年度に向け、「約束」を守り、まわりの気持ちに思いを寄せながら、自分の頭で考え行動できるよう、改めて1年間を振り返って学年のまとめ・総括を行い、自分を成長させる機会にしてほしいと願っています。

今後とも、菅原小学校の教育活動へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

特別支援教育とは？

教育相談コーディネーター

「特別支援教育」という言葉に、みなさんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。

文部科学省の定義では、①自立や社会参加に向けて ②一人一人のニーズを把握 ③生活や学習上の困難を改善又は克服と書かれています。現状を踏まえると、支援教育は障がいの診断の有無に関わらず全ての人に必要なものであると捉えています。つまり、特別な配慮を必要とする子ども一人一人に、適切な指導及び必要な支援を行うことです。

たとえば、

「ひとつのことが気になると、納得するまでやらないと終われない」

「次に何をするのか分からないと、とても不安になり活動が進まない」

「音が人よりも大きく聞こえたり、光が人一倍まぶしく感じたりする」・・・

そんな困りを感じている子どもたちがいたら、安心して学習できるように、その子に合った支援をしていきます。お子さんの困っている様子に早く気づき、適切な配慮をするよう関係機関が手を取り合うことで、よりよい成長をめざすことができます。発達や行動の特性にどう対応していいのか、不安や悩みがありましたら、ぜひご連絡ください。一緒に考えましょう。

また、定期的にスクールカウンセラーが来校し、より具体的なアドバイスをもとに支援につなげています。



スクールカウンセラーって知ってる？

スクールカウンセラーは「臨床心理士」や「公認心理師」などの心理専門の資格を取得しています。教員とは別の視点から、不登校や友人関係のトラブル、発達障害、精神的な不調などに対して、心のケアやサポートをします。

各種コンクール等入賞者紹介

今年度の作品募集に応募して、入賞したみなさんを紹介いたします。

福祉作文

4年 S・H (佳作)

青少年読書感想文

6年 N・R (優秀)

3年 M・T (優良)

3年 N・R (優良)

2年 S・H (優良)

1年 M・K (優良)

読書感想画中央コンクール

3年 T・N (最優秀)

3年 N・R (優秀)

2年 H・N (優良)

2年 T・H (優良)

2年 N・R (優良)

3年 K・S (優良)



福祉ポスター

1年 M・I (優秀)

4年 W・E (優秀)

3年 H・M (佳作)

4年 S・H (佳作)

5年 K・M (佳作)



環境ポスター

6年 U・M (最優秀)

2年 N・A (優秀)

5年 W・H (優秀)

6年 N・R (優秀)

防火ポスター

6年 K・Y (協会長賞)

1年 W・K (入選)

2年 K・A (入選)

2年 T・H (入選)

3年 Y・I (入選)

3年 H・S (入選)



今後の予定

2月17日 (月)	授業参観・懇談会 (4、5、6年)	3月 8日(土)	ボランティア清掃
2月26日 (水)	6年生を送る会	3月17日(月)	給食終了
		3月19日(水)	卒業証書授与式
		3月25日(火)	修了証書授与式

